

研究タイトル：

(日英語)比較言語学

氏名：	有坂 顕二 / ARISAKA Kenji	E-mail：	arisaka@oyama-ct.ac.jp
職名：	教授	学位：	教育学修士

所属学会・協会： 日本言語学会, 日本語文法学会, 筑波英語学会

キーワード： 生成文法, ミニマリストプログラム, 第一言語／母語, 言語比較

技術相談
提供可能技術： ◎以下の場合にお手伝いができるかと思ひます。
・下記の問題設定に共感され、それに関する文献を読まれる場合
・英語の学び直しをしたいと思われた場合



研究内容： (比較)言語学

▷ 「なぜ人間は、断片的で不完全であり、系統立ってもない言語データのインプットのみで、複雑な第一言語／母語の知識(＝文法規則体系)を、5、6歳という早期に獲得できるのか」という設定問題に対し、我々の母語である日本語(のデータ)と各言語(のそれ)を共時的に比較することで、その解明と、それが依って立つ理論の構築に何らかの貢献していきたいと考えている(ここでいう「文法」は、いわゆる「学校」文法とは全く異なる)。

▷ 現在は、(1)ハンガリー語と日本語の移動現象を比較対照し、その類似性の抽出を試みている。更には(2) why を含む英語疑問文の特性を考察している。

○ハンガリー語における主語・目的語の語順例 (É. Kiss 1994: 1):

- (1) Meglátogatta Mari Évá=t.
- (2) Mari meglátogatta Évá=t.
- (3) Évá=t meglátogatta Mari.
- (4) Évá=t Mari meglátogatta.
'Mary visited Eve.'

◎ハンガリー語と日本語間で類似する移動現象の一例 (É. Kiss 1994: 26):

- (1) Ki ki=t látott?
- (2) Ki=t ki látott?
- (3) 誰=が 誰=を 見たの?
- (4) 誰=を 誰=が 見たの?

(参考文献: É. Kiss, Katalin (1994) Sentence structure and word order. In: Ferenc Kiefer and Katalin É. Kiss (eds.) *Syntax and semantics 27: The syntactic structure of Hungarian*, 1-90. New York: Academic Press)

researchmap: <https://researchmap.jp/read0183063>

研究紀要: https://www.oyama-ct.ac.jp/tosyo/researcher/019_arisaka_kenji.html

提供可能な設備・機器：

名称・型番(メーカー)
